



ぺらぺら落書き

dozeunanosa

5億円に思いを馳せる

自分のしたいことだけをして過ごしたいとか言ってみたいなあ、なんてことは微塵も思わず、ただゆっくりのんびりしたいなあとはおもうのです。

しかし、自由にやりすぎるとなんだか腐ってしまいそうなので、少しは縛られてもみたいです。

しかし、縛られすぎでは性格がきつくなりすぎてしまいそうなので、少しは自由にもやりたいのです。

少しの自由と、少しの束縛と、少しの5億円さえあれば、よいのです。

考えてみると、5億円持っている人は、すごいつらい束縛をされるんじゃないでしょうか。5億円持ってる人が身の回りにいないので何とも言えませんが、（もう既になんとか言っていますが）こう、鉄製のロープとかで束縛されるんじゃないでしょうか。鉄製のロープで束縛されたら、もうそれは監禁ではないでしょうか。

そもそも、それ以前に、鉄製のロープとはワイヤーのことなのではないでしょうか。

時は少しさかのぼります。

3時間前、一人、いやあれは二人か？まあ一人っぽい男が私の家を訪ねてきました。という内容のメールが、友人から私のもとへ届きましたが、私は携帯を持っていないので、パソコンに届いていたのです。それに対して何の感情も持たなかった私は、そそくさとそこから去りました。提出物を出しに職員室へ来ていたのですが、職員室では生徒の個人情報飛び交う戦、通称職員会議が行われていたからです...！ 完

あとがき：この駄文は読者の皆様に何も伝えようとしていません。この拙い文に辛抱しまくって最後まで読んで下さった心優しい方には、ただただ申し訳ない気持ちでいっぱいです。